



▲松ヶ丘3丁目H氏が作成し、町に寄贈されたのぼり旗。ニュータウン地内に設置され、交通安全を呼びかけています。

鳩山町では、2009年2月2日に町内で交通死亡事故が発生してから、交通死亡事故ゼロの状況が続き、昨年2月2日に継続満10年を達成しました。更に本年1月16日に、4,000日を見事突破。このゼロ継続日数は、現存する埼玉県自治体として最長記録で、県下第1位の誇れる偉業であります。

※参考：埼玉県の過去の最長記録は1985年10月から旧南河原村が行田市へ編入合併されるまでの記録7,386日です。

さて、このゼロ日継続の更なる目標を、5,000日と決めてみました。目標日は2022年10月12日です。町民の皆さん「ゼロ行進」でがんばりましょう。鳩山ならでき！

(のぼり旗「手を挙げて ゆっくり渡ろう 横断歩道」に込めた想い)

横断歩道を渡るのに駆けたり速足で渡る人が多く見られます。これは自分のために車が待ってくれ、信号が変わらないうちに渡り切ってしまうという気持ちから、行動してしまうのでしょう。また、子どもたちの集団下校時に、誰か一人が駆け出すと、全員が駆け出してしまう光景をよく見かけますが、車は、四方八方から来ます。瞬時の変化で対応できない場合があり、非常に危険です。

横断歩道は、歩行者優先の場所です。歩行者は、自分の存在を他に示しながら、手を挙げてゆっくり渡りましょう。

(のぼり旗「おっと、危ない！ ナガラスマホは 命取り」に込めた想い)

歩道で歩きながらスマホ。自転車運転中にスマホ。自動車でもスマホを見ながら運転。これらは目隠しをして行動をしていると同じで、自分にも、他の人に対しても、非常に危険な行為です。スマートフォンは便利な機械ですが、「ナガラスマホ」は止めましょう。

松ヶ丘3丁目 H氏

地球観測センター内に桜を植樹 「ハトミライ☆プロジェクト」



鳩山高校の生徒のみなさんが、地球観測センター内に桜の植樹を行いました。

県立鳩山高等学校の生徒が発案し、地域活性化につなげようと企画した「ハトミライ☆プロジェクト」の一環で、3月25日、同校生徒や町関係者が集まり、地球観測センター内に3本の「ふくしまサクラ」の植樹を行いました。

植樹を通じて得られた「つながり」を今後に生かし、植樹された桜が「鳩山を桜の名所へ」という願いに応えて大きく成長して、今後多くの笑顔をつないでいくことが期待されます。

鮮やかなピンクの花 芝桜が今年も咲きました



鳩山町泉井地区で、芝桜が今年もピンク色の鮮やかな花を咲かせました。

町立亀井小学校から北へ1キロほどにあるこの場所は、7年ほど前から太陽光発電事業を手掛ける会社の空き地を有効利用しようと、住民らが協力して花を植え、今では地元の花見スポットとして定着しています。今年は新型コロナウイルスの感染防止のため、立ち入りでの一般公開はできませんでしたが、通行する人たちの心を和ませました。

新たな生活がスタート 小中学校・幼稚園で入学(園)式



▲今年入学の新1年生(亀井小にて)

◀初めて自分の名札を手にする新入園児(町立鳩山幼稚園にて)

4月8日、町内の各小中学校で入学式が行われ、先生や保護者らが新1年生の門出を祝いました。亀井小学校の入学式で、先生と一緒に入場した新1年生。式の中で先生にお名前を呼ばれると、かいつばいに手をあげ、元気よく返事をしていました。

また、4月9日には鳩山幼稚園で入園式が行われました。かわいらしい新入園児が園長先生のお祝いの言葉やお話を一所懸命に聞いていました。

今年度は新型コロナウイルス感染予防から、いずれの式も規模を縮小としての開催となりましたが、新入生、新園児の顔は喜びで輝いていました。

なお、今年度の新入生数は以下のとおりです。
鳩山幼稚園：11人、亀井小学校：13人
今宿小学校：34人、鳩山小学校：25人
鳩山中学校：77人



先生と一緒に新1年生は入退場しました(亀井小)

おいさとアイデア満載 「はとっ子給食レシピコンテスト2019」入選作品が給食に



子どもたちの食に対する興味・関心の向上、地場産食材の価値の再発見を図り、地産地消を推進するために、今年度は同コンテストの入選作品が、学校給食で提供されました。

1月29日には、千須和朱璃さん(当時今宿小2年、写真左)の「大豆いっばいミートソースカレー」が、

2月5日には、鈴木大和さん(当時鳩山中1年、写真中央)の「大豆DEサラダ」が、2月27日には、小峰翼さん(当時今宿小4年、写真右)の「冬野菜のほっこりわふうシチュー」が登場しました。

■問合せ 町保健センター ☎296-2530